

第1回「未来の米づくり」フォーラム

- 乾田直播・節水灌漑（マイコス DDSR）による「超低コスト・低メタン輸出米」の可能性 -
開催のお知らせ

グローバルサウス諸国をふくめ、成長する世界市場に向けて日本産米の輸出を拡大する上での最大の課題は「高い生産コスト」です。この課題解決に向けては、農地集約やスマート化だけでなく、栽培体系の選択肢を増やす必要はないでしょうか？

たとえば、麦や大豆やコーンとの輪作体系を前提に、春の田起こし・育苗・代掻き・田植えといった作業の要らない、乾田直播・節水灌漑（出芽後も湛水せず、必要な時だけ水入れ）の「未来の米づくり」を確立できないでしょうか？

これは「日本産米輸出の切り札」になる可能性のみならず、水不足を課題とするグローバルサウスとの経済協力、メタンガス大幅削減による地球規模での付加価値創出、日本の中山間地の圃場や耕作放棄地の活用にも役立つ可能性がないでしょうか？

2023年秋、北海道、群馬、鳥取などの複数の農業法人が、ビール会社・資材商社の協力によって「マイコス DDSR」と呼ばれるマイコス（菌根菌）資材やビール酵母資材等を活用した乾田直播・節水灌漑での水稻栽培を成功させました。

この事実を目撃した農林水産省輸出・国際局では、本年2月より全国8つの農業法人、日本や欧米の資材メーカー、国内外の研究機関等を招いて「超低コスト・低メタン輸出米官民タスクフォース」を発足させ、栽培・輸出実証事業を始めました。

第1回「未来の米づくり」フォーラムでは、この官民タスクフォースのメンバーである農業法人等が進めている栽培体系確立に向けた日々のチャレンジの様子をご紹介します。詳細については別紙次第やメンバーリストをご参照ください。

記

日 時：令和6年6月13日（木）14時00分 - 16時15分

形 式：オンラインウェビナー形式（Microsoft Teams）

参加登録フォームリンク先：<https://forms.office.com/r/0GZ2LxkKr1>

※後日 YouTube にて録画配信もいたします。

連絡先

農林水産省 輸出・国際局 新興地域グループ
超低コスト輸出米プロジェクトチーム

（担当）佐伯、米倉、柏谷

TEL：03-3501-7402（直通）